

会議録

会議の名称	平成30年度第2回野洲市子育て支援会議
開催日時	平成30年10月16日(火) 14時00分から15時30分まで
開催場所	野洲市役所 本館3階 第一委員会室
【出席者の氏名等】	<p>・野洲市子育て支援会議委員(順不同) 北脇真由美委員、勝景子委員、若井末佐委員、神田美和子委員、北村みどり委員、山口桂子委員、○水谷威彦委員、◎前川頼子委員、辻川眞由美委員、安田亮委員 (◎:会長 ○:副会長) 欠席1名</p> <p>・事務局側出席者 市:山仲市長、赤坂健康福祉部政策監、田中健康福祉部次長、 こども課:井狩主席参事、宮崎課長補佐、遠藤課長補佐、中野受託業者:㈱ぎょうせい 臼井研究員、井川主査</p> <p>・傍聴者 なし</p>
【会議の目的・主旨】	<p>・審議 野洲市子ども・子育て支援事業計画(次期計画)策定に向けたニーズ調査について</p> <p>・報告 三上こども園及び篠原こどもの家整備進捗状況について</p>
【審議結果】	<p>・野洲市子ども・子育て支援事業計画(次期計画)策定に向けたニーズ調査について</p> <p>→資料に基づいて事務局から提案を行い、以下の3つのポイントにより審議した。結果、当日委員から出た意見等を踏まえ、後日事務局において微調整・修正を行い、最終的に会長が確認した調査票により、当該調査を実施することが承認された。具体的には以下のとおり。</p> <p>1. ニーズ調査対象者の範囲、選定は適切か</p> <p>質問①:今回、幼児教育・保育の無償化の影響をより知りたいということであれば、就学前児童の保護者用(以下「就学前児童用」と表記)と小学校児童の保護者用(以下「小学校児童用」と表記)の配布数を同数にするのではなく、もう少し就学前児童用を数多く配布して調査を行う方が良いのではないかと。</p> <p>回答①:就学前児童の配分を増やすことは可能であると思うので、持ち帰って事務局内で再度検討したい。</p> <p>質問②:今回の調査において統計上必要な回収率や回収数という記載があるが、これらの前提条件を教えてください。</p> <p>回答②:統計的に必要な回収率・回収数については、野洲市の子どもの人口を基に信頼率95%・要求精度5%と設定して算出した結果である。</p> <p>質問③:就学前の子どもがいない小学生の家庭では、幼児教育・保育の無償化のことは無関係であり、調査票が来てもあまり関心が持てないのではないかと。</p> <p>回答③:小学校児童用の調査票には無償化の影響を探る目的はなく、無償化のことは記載していない。</p>

質問④：小学校児童用の調査票には無償化のことは記載しないということだが、下の子に就学前の子どもがいる場合には、幼児教育・保育の無償化が学童保育の利用にも結びつく可能性があるのではないか。

回答④：調査票については、一人ひとりの子どもを宛名に明示して送付する形となる。小学校児童用にまで無償化という言葉に記載してしまうと、誤解を与え、学童保育のニーズが過大に算出されてしまう可能性がある。

質問⑤：宛名の子どもというのは、その家庭に兄弟姉妹がいた場合、必ずしも一番上の子どもとは限らないということか。

回答⑤：お見込みのとおり。

→就学前児童用と小学校児童用の調査票の配布数・配分について再度検討を行い、最終的に会長の確認、承認を得ることとする。

2. 計画へ反映させるための必要な調査項目であるか。

質問①：幼児教育・保育の無償化の設問に関して、最初から無償化を前提にして設問を構成するとニーズ量が過大になるというのはもったもだが、調査においては、現状の段階と、仮に無償化になった場合の2段階に分けて利用意向を聞く必要があるのではないか。

回答①：先ほどは小学校児童用の調査票に関する説明であったが、就学前の児童については、無償化が前提であるので、「無償化になった場合」ということで設問を置いている。また、その他の設問からも無償化の影響を探っていく。

質問②：就学前児童用の調査票の18・19ページに載っているのは市の事業だけだと思うので、その他にも地域の自治会や民間でやっている子育てサロンの利用状況や利用意向も聞いた方が良いのではないか。

回答②：子育てサロンについては、市以外の事業についても聞いた方が良いとの思いはあるが、具体的に聞き始めると際限がなくなるため、ここでは一旦、市が実施している事業ということで線を引きたい。もし設問を設けるのであれば、これ以外で利用しているものはあるかを問う形式などが考えられる。

→後日、事務局で微調整・修正を行った調査票について、最終的に会長の確認、承認を得ることとする。

3. 調査票の回収方法

質問・意見等なし。

→各施設・学校から調査票を配布すると、回収率が上がることも考えられる。しかし、調査票を受け取る方、受け取らない方が出て、かえって混乱を生じるおそれもあるため、郵送による配布・回収を行うことで承認が得られた。

- ・ニーズ調査は、調査票を11月下旬に配布、年内に回収を行う。次回の会議では、調査結果を報告し、分析した内容について意見交換を行う予定。

【報告事項】

- ・三上こども園及び篠原こどもの家整備進捗状況について

→資料に基づいて、事務局より整備の概要とスケジュールを報告。質問等はなし。

【提出された主な資料等】

- ・野洲市子育て支援会議名簿（第3期）
- ・野洲市子育て支援会議条例・規則
- ・野洲市子ども・子育て支援事業計画 次期計画策定に向けたニーズ調査について
- ・子ども・子育て支援に関するアンケート調査ご協力のお願い（就学前児童の保護者用調査票案）
- ・子ども・子育て支援に関するアンケート調査ご協力のお願い（小学校児童の保護者用調査票案）
- ・三上こども園及び篠原こどもの家整備進捗状況について